

VI 代表的なエリートツリー（特定母樹）の特性

1. 代表的なクローン

特徴と利用の方法

ここでは、72系統の中から、特に優れた特性を示す代表的な3クローンを取り上げます。これらは、採種園パッケージに導入する際の有力な候補となるものです。以下に、現時点で把握している各クローンの特徴を示します。なお、72系統の特性値は25～26頁に記載しています。

クローン名	特徴	含まれる採種園パッケージ
カラマツ林育2-10 (特定26-46)	20年次の成長性が特定母樹の中で特に優れる。検定林にあった原木は幹の通直性が優れ、自然状態でも優れた雌花着花性を示す。断幹や整枝・剪定などの適切な施業・管理を施すことで、優れた雌花着花性を示す。	多様性重視49型 少雪地側36型 多雪地側36型
カラマツ林育2-11 (特定26-47)	20年次の成長性が特定母樹の中で特に優れる。検定林にあった原木は、幹の通直性が優れる。断幹や整枝・剪定などの適切な施業・管理を施すことで、優れた雌花と雄花着花性を示す。	多様性重視49型 多雪地側36型
カラマツ林育2-54 (特定26-55)	20年次の成長性が特定母樹の中で優れる。検定林にあった原木は、幹の通直性が特に優れる。断幹や整枝・剪定などの適切な施業・管理を施すことで、優れた雌花と雄花着花性を示す。	多様性重視49型 少雪地側36型 多雪地側36型
カラマツ林育2-99 (特定27-13)	20年次の成長性は、特定母樹の中で中庸。検定林にあった原木は幹の通直性が優れ、自然状態でも優れた雌花着花性を示す。断幹や整枝・剪定などの適切な施業・管理を施すことで、優れた雌花と雄花着花性を示す。	多様性重視49型 少雪地側36型 多雪地側36型

VI 代表的なエリートツリー（特定母樹）の特性

2. カラマツ林育2-10（特定26-46）

成長特性	通直性		繁殖特性		
20年次材積	幹	根元	球果 (検定林)	雌花 (交配園)	雄花 (交配園)
5	3	4	5	4	3
原木の選抜地 (検定林)	北関東		親系統の選抜地	東信	
原種の保存	林木育種センター長野増殖保存園				

【特性】

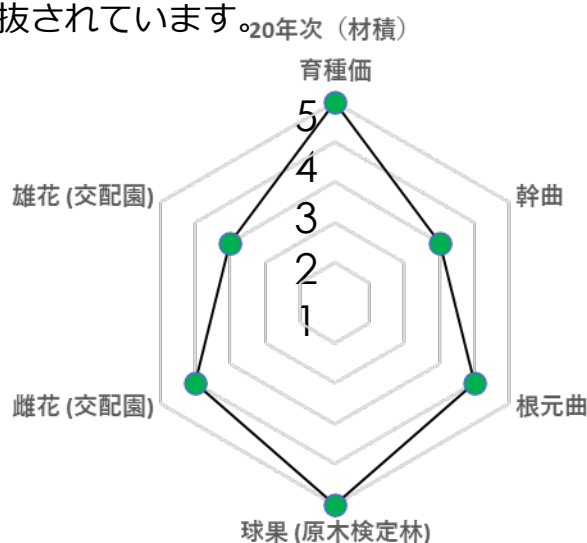
20年次の成長性が特定母樹の中で特に優れます。検定林にあった原木は幹の通直性が優れ、自然状態でも優れた雌花着花性を示します。断幹や整枝・剪定などの適切な施業・管理を施すことで、優れた雌花着花性を示します。多雪地側と少雪地側の両方の地域で利用できます。

【選抜地】

群馬県吾妻郡嬭恋村の検定林（地域集団：北関東）で選抜されています。



上：採種木（つぎ木9年生）
中：球果（同上の個体に着生）
下：採穂木（つぎ木9年生）



40年次
ポールは高さ5m

図中の材積成長（20年次）は、検定林に植栽されている第一世代、在来種苗、第2世代等を含む全集団に対する偏差値を基に5段階評価（平均=3、4は偏差値55～65）し、繁殖特性（球果・雌花・雄花）は特定母樹72系統に対する偏差値を元に5段階評価した。通直性は5段階指数評価値の絶対値で示している。

VI 代表的なエリートツリー（特定母樹）の特性

3. カラマツ林育2-11（特定26-47）

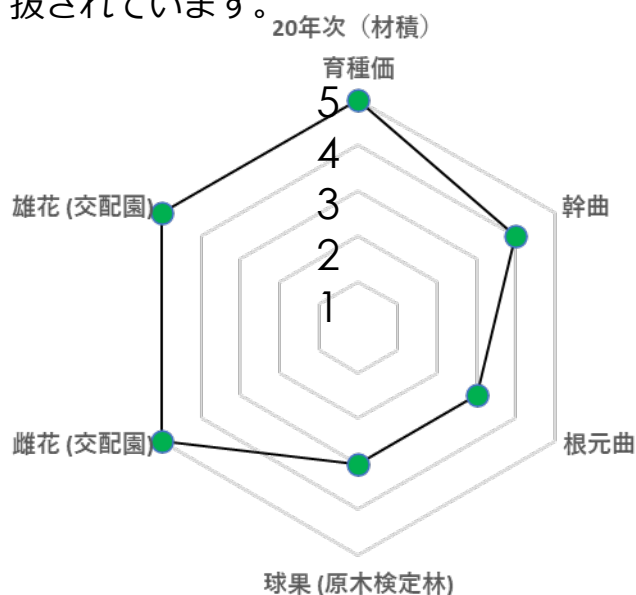
成長特性	通直性		繁殖特性		
20年次材積	幹	根元	球果 (検定林)	雌花 (交配園)	雄花 (交配園)
5	4	3	3	5	5
原木の選抜地 (検定林)	北関東		親系統の選抜地	北関東	
原種の保存	林木育種センター長野増殖保存園				

【特性】

20年次の成長性が特定母樹の中で特に優れます。検定林にあった原木は、幹の通直性が優れます。断幹や整枝・剪定などの適切な施業・管理を施すことで、優れた雌花と雄花着花性を示す。多雪地側地域で利用できます。

【選抜地】

群馬県吾妻郡嬭恋村の検定林（地域集団：北関東）で選抜されています。



40年次
ポールは高さ5m



上：採種木（つぎ木9年生）
中：球果（同上の個体に着生）
下：採穂木（つぎ木9年生）

図中の材積成長（20年次）は、検定林に植栽されている第一世代、在来種苗、第2世代等を含む全集団に対する偏差値を基に5段階評価（平均=3、4は偏差値55～65）し、繁殖特性（球果・雌花・雄花）は特定母樹72系統に対する偏差値を元に5段階評価した。通直性は5段階指数評価値の絶対値で示している。

VI 代表的なエリートツリー（特定母樹）の特性

4. カラマツ林育2-54（特定26-55）

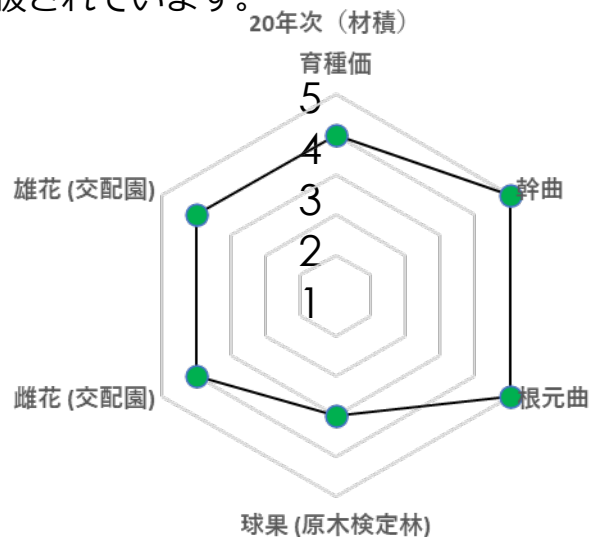
成長特性	通直性		繁殖特性		
20年次材積	幹	根元	球果 (検定林)	雌花 (交配園)	雄花 (交配園)
4	5	5	3	4	4
原木の選抜地 (検定林)	北関東		親系統の選抜地	東信	
原種の保存	林木育種センター長野増殖保存園				

【特性】

20年次の成長性が特定母樹の中で優れます。検定林にあった原木は、幹の通直性が特に優れます。断幹や整枝・剪定などの適切な施業・管理を施すことで、優れた雌花と雄花着花性を示します。多雪地側と小雪地側の両方の地域で利用できます。

【選抜地】

群馬県吾妻郡嬭恋村の検定林（地域集団：北関東）で選抜されています。



23年次
ポールは高さ5m



上：採種木（つぎ木9年生）
中：球果（同上の個体に着生）
下：採穂木（つぎ木12年生）

図中の材積成長（20年次）は、検定林に植栽されている第一世代、在来種苗、第2世代等を含む全集団に対する偏差値を基に5段階評価（平均=3、4は偏差値55～65）し、繁殖特性（球果・雌花・雄花）は特定母樹72系統に対する偏差値を元に5段階評価した。通直性は5段階指数評価値の絶対値で示している。

VI 代表的なエリートツリー（特定母樹）の特性

5. カラマツ林育2-99（特定27-13）

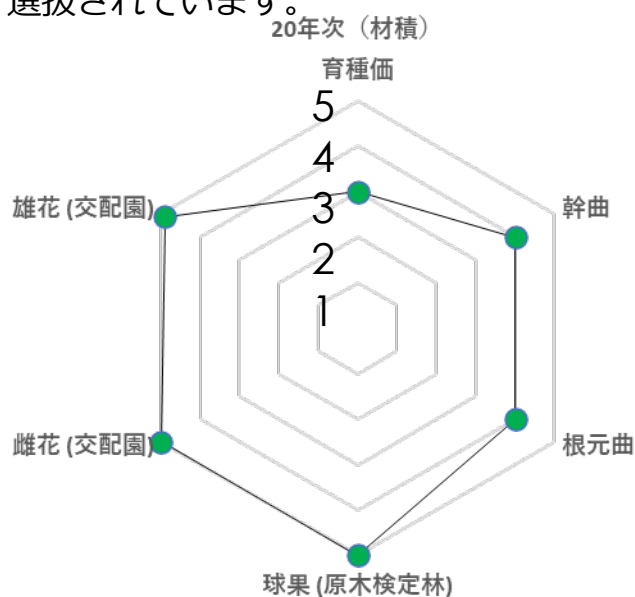
成長特性	通直性		繁殖特性		
20年次 材積	幹	根元	球果 (検定林)	雌花 (交配園)	雄花 (交配園)
3	4	4	5	5	5
原木の選抜地 (検定林)	東信		親系統の選抜地	東信	
原種の保存	林木育種センター長野増殖保存園				

【特性】

20年次の成長性は、特定母樹の中で中庸。検定林にあった原木は幹の通直性が優れ、自然状態でも優れた雌花着花性を示します。断幹や整枝・剪定などの適切な施業・管理を施すことで、優れた雌花と雄花着花性を示します。多雪地側と少雪地側の両方の地域で利用できます。

【選抜地】

長野県南佐久郡佐久穂町の検定林（地域集団：東信）で選抜されています。



26年次
ポールは高さ5m



上：採種木（つぎ木12年生）
中：球果（同上の個体に着生）
下：採穂木（つぎ木12年生）

図中の材積成長（20年次）は、検定林に植栽されている第一世代、在来種苗、第2世代等を含む全集団に対する偏差値を基に5段階評価（平均=3、4は偏差値55～65）し、繁殖特性（球果・雌花・雄花）は特定母樹72系統に対する偏差値を元に5段階評価した。通直性は5段階指数評価値の絶対値で示している。